

平成18年度 予算特集号



元気をつくる

5つのエネルギーグッシュ政策

I 広報
Imari

伊
予
里

平成18年
第2回定例会

所信表明

今年度は市長改選の年に当たり、当初予算は義務的、経常的経費などを中心とした言わば骨格予算でした。それに今回の補正予算で投資的経費や政策的経費などを追加し、予算の肉付けを行ったところです。

この議会では、補正予算などの審議に先立ち、市長が市政方針を表明し、本年度の市の方向性を示しました。

伊万里市の元気を さらに大きく 元気をつくる 5つのエネルギー政策

わたしは先の市長選挙におきまして、無投票当選という形で、引き続き2期目の市政運営の舵取りを任せていただきました。これは、市民本位を基調とした『さわやか市政』の流れをこのまま続けて欲しいという市民の皆様の熱い期待のあらわれと受け止めており、それ故に責任の重大さを痛感し、身が引き締まる思いがいたしております。いま一度初心に立ち返り、さらなる伊万里市の発展のために全身全霊で取り組もうと決意を新たにいたしているところです。

伊万里市長

塚部 芳和

Yoshikazu Tsukabe

(市政運営の考え方)

本市においては、財政の健全化を最重要課題としてとらえ、一昨年に財政健全化計画を策定して効率的な財政運営に努めてきたところですが、現状は予想以上に深刻な状況にあり、徹底した事務事業の見直しをはじめ、市民との協働による新たな公共サービスとの仕組みの構築など、市民の目線に立ったさらなる改革を推進していく必要があります。

一方、社会資本の整備では、この4年間、厳しい財政状況にはありましたが、長年の懸案であった駅周辺やファミリーパーク整備などの大型プロジェクトをはじめ、各町での地域に根ざした事業などについても、一定の進捗をみることもできました。

また、様々な分野での多種多様なまちづくり活動に市民との協働あるいは市民主体の取り組みが浸透し、定着を見せていることは大変心強いものがありますし、全国レベルでの情報発信となる明るい話題も多く、伊万里市の活力を内外に広めることができましたところ です。

最近では、これまでのインフラ整備や企業誘致活動などの努力が実を結び、新たな企業の進出やIC関連企業の大規模な事業拡張が決定したほか、美術館の誘致も実現の運びとなるなど、市民の積極的なまちづくり活動に加えて、市勢発展の大きな原動力となる民間による経済活動を活



用する取り組みも成果を得ようとしているところです。

わたしは、このような伊万里市の元気をさらに大きくしていくため、引き続き市民本位、市民との協働を基調にした『さわやか市政』を貫く考えですが、今回市政を担わせていただくにあたり、2つの軸を市政の舵取りの指針にしたいと考えています。

一つは、将来の伊万里市全体をどう発展させていくか、いわば未来志向型の伊万里市づくりとも言うべき大きな視点であり、もう一つは市内の各町、地域において、子どもからお年よりまで市民のだれもが暮らしやすさを実感できるような、それぞれの地域でのキメ細かな配慮のある伊万里市づくりです。

また、今回の市長選挙で示しました政策実行計画（マニフェスト）では、『伊万里市の元気をつくる5つのエネルギー政策』として、具体的な80の元気施策を掲げているところであり、市民の皆さんが愛着と誇りを持つことのできる『住みたいまち』、さらには訪れる人が魅力を感じる『行きたいまち』をめざして、職員一丸となつて取り組みます。

以上、2期目の市政を担うにあたって基本的な考え方を述べましたが、次に主要な施策を政策実行計画（マニフェスト）に掲げた5つのエネルギー政策に沿って説明します。

NO.1

歴史や伝統文化、特産品など地域の宝を生かした元気なまち

世界に誇る焼物『鍋島』や古伊万里由来の歴史、文化など地域固有の資源を活用して、観光客の誘致などによる交流人口の拡大をめざします。

そのため、秘窯の里大川内山の窯元群や国指定の史跡、建設に向けて動き出している戸栗美術館（仮称）などの一体的な活用方策の検討を行うとともに、古伊万里文化の漂うまちづくりとあわせて江戸時代の大庄屋前田家など歴史的な遺産の保存活用に努めながら、市街地への観光客の誘致を図ります。

また、希少なカブトガニの繁殖地であることや新たなツル越冬地をめざしていることで全国の注目を集めており、環境教育や観光資源としての活用についてさらに取り組みを進めます。

生産活動の面で伊万里の元気を支えている市内の企業活動に対する理解、関心を促すとともに、新たな観光資源としての可能性をさぐるために造船所など市内企業の見学会を実施するなど、既存の観光資源と組み合わせた産業観光の開発にも取り組めます。



戸栗美術館(東京都渋谷区)

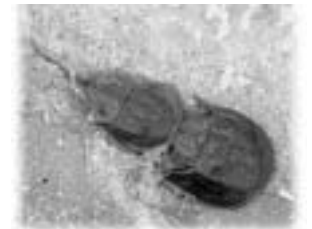


伊万里を感じる街並みイメージ



- 戸栗美術館建設促進事業** 753万円
 焼き物文化の情報発信拠点として、文化、観光振興などに寄与する戸栗美術館の建設を促進します
 問合せ先 美術館建設促進室 財源：国280万円 市債310万円 市163万円
- 「大川内山」エコミュージアム構想策定事業** 500万円
 歴史に根ざした伝統文化をはじめとする地域資源を活用した大川内山の一体的な発展方策を検討します
 問合せ先 美術館建設促進室 財源：国200万円 市300万円
- 史跡大川内鍋島窯跡保存整備事業** 220万円
 平成15年9月に国史跡に指定された大川内鍋島窯跡の将来的な保存、整備などを図るため、保存管理計画を策定します
 問合せ先 生涯学習課 財源：国110万円 県55万円 市55万円
- 世界遺産登録推進事業** 5万円
 大川内山の世界遺産登録に向けて、先進地の取り組みを研究するとともに、気運を高めるため、大川内山の路地に名前を付け路地案内標識の設置を行います
 問合せ先 商工観光課 財源：市5万円
- 交通安全施設整備事業** 474万円
 交通弱者の安全確保のため、既存歩道（市道延命橋線）の段差解消工事を行います
 問合せ先 土木管理課 財源：国200万円 市債220万円 市54万円
- 伊万里を感じる街並み修景整備計画策定事業** 300万円
 古伊万里の積出港（伊万里津）としての歴史が感じられ、また焼き物のまちのイメージが前面に出るような市街地の修景整備を図るため、その指針となる計画の策定を行います
 問合せ先 都市開発課 財源：国120万円 市180万円
- 観光ボランティアガイド養成事業** 15万円
 来訪者に対する満足度を高め、リピーターの増加をめざすなど観光客誘致促進を図るため、観光ボランティアガイドを養成します
 問合せ先 商工観光課 財源：国6万円 市9万円
- 市内企業ウォッチング事業** 11万円
 市内企業の状況や事業内容を多くの市民に知ってもらうことで、市内企業に対する理解を促すとともに、若年者の市内への就職促進を図ることを目的に、また、名村造船所の進水式などを観光資源につなげていくための可能性を探る試験的な事業として、市内大手企業の見学会を実施します
 問合せ先 商工観光課 財源：市11万円

- ツル越冬事業** **342万円**
 ツルの越冬を促進するために環境整備を行い、ツルの越冬誘致を図ります
 問合せ先 農山漁村整備課 財源：県55万円 市287万円
- カブトガニ保護基本計画策定事業** **6万円**
 絶滅危惧種としてレッドデータブックにも取り上げられているカブトガニの保護を一層進めるため、長期的な保護基本計画の策定を行います
 問合せ先 生涯学習課 財源：市6万円
- カブトガニ展示観察事業** **102万円**
 本市の環境保護のシンボルであるカブトガニについて、保護活動を充実させるために生態展示を行います
 問合せ先 生涯学習課 財源：市102万円
- 「大庄屋前田家」利活用調査事業** **29万円**
 江戸時代後期に建設された「大庄屋前田家住宅」が「22世紀に残す佐賀県遺産」の認定を受けたことから、地域の歴史文化研究の場として、また市街地活性化の資源としての利活用について調査研究を行います
 問合せ先 都市開発課 財源：市29万円
- 博物館・美術館構想研究事業** **31万円**
 博物館・美術館建設具現化の方向性を見出すために、市民との協働による事業展開を進めます
 ・市民文化フォーラムの開催・市民所蔵品展の開催
 問合せ先 生涯学習課 財源：市31万円
- 指定文化財説明板製作事業** **21万円**
 市内には52件の指定・登録文化財があり、老朽化が著しい看板や表現内容の見直しを要するもの14件について、年次的に設置を行います
 説明版…山ノ寺遺跡 案内板…山ノ寺遺跡、小島古墳
 問合せ先 生涯学習課 財源：市21万円
- 伊万里塾推進事業** **246万円**
 地域の歴史、文化、風土、自然などの特性を活かした地域づくりを図るため、地域の特性や課題などを踏まえた生涯学習を各種団体と連携しながら、各町公民館を拠点に独自の講座などを開催します
 問合せ先 生涯学習課 財源：市246万円
- 特色ある公民館創造事業** **150万円**
 地域づくりの拠点である公民館の主導のもと、特色ある地域づくりを実践するため、当該事業を委託し、活力ある公民館活動を推進します
 問合せ先 生涯学習課 財源：市150万円
- 自治公民館新改築事業** **270万円**
 自治公民館の新築を行う永山地区に対し、補助を行います
 問合せ先 生涯学習課 財源：市270万円
- 図書館システム更新整備事業** **404万円**
 現行図書館システムは、年々蓄積される図書データにより、容量満杯の状態となっており、事務処理に支障をきたしている状況であるため、10月からデータ容量の拡大と高速検索システムを備えた新システムを導入します
 問合せ先 市民図書館 財源：市404万円
- ウォーキング大会開催事業** **70万円**
 誰もが気軽に参加できる「歩きたくなる街伊万里ウオーク2006（仮称）」を開催し、市民の健康づくりを推進するとともに、全国のウォーキングファンへ呼びかけることにより、伊万里を広くPRします
 問合せ先 体育保健課 財源：国28万円 市42万円



前田家住宅



山ノ寺遺跡



伊万里学講座



NO.2

地域医療の充実と食のまちづくりによる日本一の健康長寿のまち

医療ニーズが多様化、高度化するなか、健康を願う市民の公的医療機関への期待は大きいものがあり、これに応えていかなければなりません。

そこで、高度救急医療をはじめとする地域医療の充実を図る中核的病院の整備については、社会保険庁など国の動きを見きわめながら、その実現に向けた基本計画策定に取り組みます。

また、高齢者のみなさんが健康で安心して生活できるよう、一人暮らしや要介護の高齢者などに対する各種の事業を実施するほか、たっしやか体操の普及などを通じて高齢者が地域のなかで元気で生き生きと暮らしていくための健康づくりや生きがい対策も講じます。

一方、安全で安心な食生活につながる地産地消の取り組みや『ふるさと薬膳』メニューの普及など『食のまちづくり』を通じて市民の健康維持増進を図り、健康で長生きすることができる地域社会をめざします。



休日・夜間急患医療センター



たっしやか体操

- **中核的病院整備推進事業** 829万円
 救急医療や高度医療に対応できる医療環境の充実をめざし、中核的病院の整備を推進します
 問合先 中核的病院準備室 財源：市829万円
- **夜間救急外来診療体制整備事業** 808万円
 夜間における救急外来診療体制を確保するため、救急告示病院に対し補助を行います
 問合先 健康づくり課 財源：県404万円 受託事業収入174万円 市230万円
- **在宅当番医制運営事業** 58万円
 休日・夜間急患医療センターでの初期救急医療体制を補完し、連休日における耳鼻科、眼科の救急患者への適切な医療の提供を図るため、事業を伊万里・有田地区医師会に委託します
 問合先 健康づくり課 財源：市58万円
- **病院群輪番制病院運営事業** 490万円
 初期救急医療（休日・夜間急患医療センター、在宅当番医制）の後方支援として、休日において入院治療を必要とする重症救急患者の医療を確保するため、輪番制により開院する伊万里・西松浦地区内の11病院に対し、運営に要する経費の補助を行います
 問合先 健康づくり課 財源：受託事業収入212万円 市278万円
- **休日・夜間急患医療センター運営事業** 1,329万円
 休日・夜間急患医療センターを開設し、日曜日や祝日、夜間小児などの初期救急医療体制の確保を図ります
 問合先 健康づくり課 財源：市1,329万円
- **食を活かしたまちづくり事業** 485万円
 平成17年度に引き続き「食のまちづくり推進計画」に基づき、市民と行政との協働により計画的かつ効率的に事業を推進します
 ○事業内容
 ・食のまちづくり推進委員会の開催
 ・都市宣言の普及活動事業
 ・農村レストランメニュー構築事業
 問合先 男女協働・まちづくり課 財源：国299万円 市186万円
- **健康長寿のまちづくり推進事業** 60万円
 健康長寿のまちづくりを推進するため各種事業を行います
 ①健康づくり普及推進員（たっしやか推進員）養成
 ②たっしやか体操普及事業
 ③私の町のおすすめ簡単「家庭の味」普及事業
 ④健康づくり推進のつどい
 問合先 健康づくり課 財源：佐賀県国民健康保険団体連合会60万円

NO.3

企業誘致と地場産業の育成による雇用の拡大と生き生きと働ける元気なまち

伊万里に働く場を求める新規卒業者やUターン、Iターン希望者にとって魅力のある雇用の場と環境づくりに努め、定住人口の拡大を図ります。

まず、IC関連企業の雇用を含めた空前の規模での事業拡張を受け、工業用水の確保が最優先すべき課題であることから、県との協調、連携により、鋭意取り組みます。

また、企業の動きが活発な今の時機を逃すことなく、今後も積極的な誘致活動に取り組みとともに、地場の中小企業等に対しては、誘致企業との連携による新分野への取り組みや新商品開発の支援などを通じてその育成を図ります。



●新商品等開発支援事業

100万円

市内の中小企業が行う新商品などの開発に対し、その経費の一部を助成します
問合先 商工観光課 財源：国40万円 市60万円

●伊万里・アジアネットワーク事業

707万円

中国を中心とした東アジアをターゲットに、伊万里の持つ資源を活用した経済活性化策を実施します
問合先 開発推進課 財源：県52万円 市655万円

●第4工業用水道建設事業

3億661万円

平成19年度から第4工業用水道の工事に着手するための環境を含む各種調査、許認可申請、詳細設計などを行います
問合先 水道部工業用水道開発室 財源：市債2億6,200万円 市4,461万円



中国・大連市の百貨店で販売された伊万里焼・伊万里梨



(株)SUMCOイメージパース



貯水池として計画されている山代町久原の貯木場

NO.4

教育・福祉の充実と子育て支援による安心して子どもを産み育てる元気なまち

将来を担っていく子どもたちを心身ともに健やかに育てあげることは地域全体の努めであり、そのための環境づくりは緊急な行政課題のひとつです。

人口減少の大きな理由のひとつとされる少子化に対応して、不妊治療に対する助成やこども医療費助成制度を新たに設け、経済的な負担の軽減を図るとともに、留守家庭児童クラブの拡充などにより、安心と喜びを感じながら子育てができる環境づくりに努めます。

また、子育て支援について、市民や事業所など地域をあげた取り組みとして充実させるため、新たに基金制度を設け、今後幅広い活用を図ります。



建設中の新給食センター

●母子保健事業

母子保健法に基づき、妊産婦の健康管理と乳幼児および児童が心身ともに健やかに育つことをめざし、健康診査、訪問指導などを行います

・妊婦乳児健康診査事業	987万円	財源：市987万円
・1歳6か月児健康診査事業	86万円	財源：市 86万円
・母子健康手帳交付事業	5万円	財源：市 5万円
・3歳児健康診査事業	124万円	財源：市124万円

●不妊治療エンゼルサポート事業

75万円

不妊治療における人工授精・高度生殖医療は健康保険適用外であるとともに、治療費が高額であることから、その治療費の一部を助成し、不妊で悩む家庭の経済的負担の軽減を図ります

問合先 健康づくり課 財源：市75万円

●親子ふれあい交流事業

5万円

健康づくり週間に、次世代育成支援の一環として、親子のふれあいや食育に関する催しを実施します

○事業内容 親子でたのしい運動、ふれあいクッキング、育児相談など

問合先 健康づくり課 財源：国2.5万円 市2.5万円

●思春期における保健福祉体験学習事業

5万円

思春期の生徒に対し、性教育などに関する講演会や赤ちゃんとのふれあい体験実習を実施し、生命の尊厳や父性母性の育成を図ります

問合先 健康づくり課 財源：県3万円 市2万円

●新給食センター管理運営事業

1億6,084万円

9月から操業を開始する新給食センターの運営および維持管理を行います

問合先 体育保健課 財源：県745万円 市1億5,339万円

●一時保育促進事業

479万円

保育園児でない在宅の乳幼児を一時的に保育所において保育します

問合先 福祉課 財源：県319万円 市160万円

●延長保育促進事業

480万円

保護者の就労時間などに対応するため、保育園の開所時間（11時間）を超えて30分の延長保育を行う保育園に対し補助を行います

問合先 福祉課 財源：国240万円 市240万円

●乳幼児医療費助成事業 6,272万円

3歳未満の乳幼児の医療費について助成を行います

問合せ 福祉課 財源：県3,103万円 福祉基金繰入金2,000万円
乳幼児医療費高額療養費受入金38万円 市1,131万円



●幼児インフルエンザ予防接種費助成事業 210万円

小学校就学前幼児のインフルエンザ予防接種に要する費用の一部を助成し、保護者の負担軽減を図ります

問合せ 福祉課 財源：市210万円



黒川児童クラブ(H17建設)

●こども医療費助成事業 215万円

3歳～小学校就学前のこどもについて、入院時の医療費に係る自己負担額の一部を助成します

問合せ 福祉課 財源：市215万円

●留守家庭児童クラブ専用施設整備事業 2,293万円

立花児童クラブ専用の施設を建設します

問合せ 教育総務課 財源：県847万円 市債1,070万円 市376万円



波多津小学校一輪ピック

●特色ある学校創造事業 400万円

教育活動に関する予算の用途について学校長の裁量の幅を広げることにより、創意工夫を生かした教育活動を行い、学校の自主性、自律性を向上させ、特色ある学校づくりを推進します

問合せ 学校教育課 財源：教育振興奨励基金繰入金400万円



●ブックスタート事業 71万円

生後3か月を迎えた赤ちゃんとその保護者に対し、3か月健診の折に絵本を渡すとともに、ボランティアによる読み聞かせを行います

問合せ 市民図書館 財源：市71万円

●子育て応援基金 100万円

市民と協働で子育て応援活動を推進するため、子育て応援基金を設置します

問合せ 福祉課 財源：寄附金100万円



●都市公園整備事業 3,268万円

伊万里ファミリーパークの整備を引き続き行います

問合せ 都市開発課 財源：国1,500万円 市債1,650万円 市118万円



NO.5

活力ある農林水産業の育成と商業を中心とする中心市街地が輝く元気なまち



国の農業政策が規模の大きい経営体などの担い手農家への支援に移行する動きのなか、牛肉や梨、きゅうりなどの全国的な銘柄産地としての地位をさらに高め、地域農業の自立に努めていく必要があります。

そのため、伊万里牛を中心に、一層のブランド力向上と販路拡大を図るとともに、優れた技術や経営能力を備えた若い農業者の就農

を促進するなど、地域農業の担い手確保に努めます。

また、伊万里市独自の都市農村交流イベントとして話題を集め、好評を博している『畑の中のレストラン』の第2弾として、『畑の中のホテル』とも呼ぶべき農家民泊の取り組みなども視野に入れたグリーンツーリズム事業を推進し、農業農村の活性化に力を入れます。

中心市街地については、観光ボランティアアガイドの皆さんの精力的な活動で注目されている古伊万里文化をテーマにした街なか散策を中心に観光客の誘致を図るとともに、商店街活性化に向けた各種の取り組みを支援することにより、賑わいのある商店街の形成に努めます。

- **グリーンツーリズム推進事業** 375万円
 本市の特色ある農畜水産物の魅力を市内外にアピールすることにより、農畜水産物の適正な評価と人的交流を促進し、農村への活力増進を図ります
 問合先 農業振興課 財源：県275万円 市100万円
- **伊万里牛振興会支援事業** 196万円
 伊万里牛の銘柄確立(関西市場での共励会)と販路拡大(東京市場)を図り、伊万里牛の生産振興を促進します
 問合先 農業振興課 財源：市196万円
- **魅力あるさが園芸農業確立対策事業** 7,136万円
 園芸(果樹、野菜)を経営の柱とする自立専門農家の育成、確保を図るため、農業用機械や施設を導入する経費に対し補助を行います
 問合先 農業振興課 財源：県5,545万円 市1,591万円
- **新たな米政策対策事業** 2,211万円
 生産組織の育成、強化による良質な米、麦、大豆の安定的供給を確立するため、生産組織が実施する高性能機械導入などの経費に対し補助を行います
 問合先 農業振興課 財源：県1,755万円 市456万円
- **さが畜産自給力強化対策事業** 563万円
 肥育素牛の生産体制の確立と家畜糞尿の適正処理や自給飼料の増産のための機械、施設などの整備費に対し補助を行います
 問合先 農業振興課 財源：県433万円 市130万円
- **農業・食品強化対策整備交付金事業** 961万円
 効率的な農業経営を展開するため、病害虫防除の省力化と労働時間の低減をめざし無人ヘリコプターを導入する経費に対し補助を行います
 問合先 農業振興課 財源：県961万円



無人ヘリコプター

●基盤整備促進事業

4, 120万円

水田の高上げ、排水路の改修などの基盤整備により生産性の向上および効率的・安定的な農業経営を図ります

問合せ先 農山漁村整備課 財源：県2,890万円 基盤整備促進事業費分担金615万円
市615万円



●森林を守る交付金事業

2, 553万円

適切な森林整備の推進を通じて、森林の有する多面的な機能を発揮し、森林施業の実施に不可欠な地域における活動の確保を図るために支援を行います

問合せ先 農山漁村整備課 財源：県1,901万円 市652万円



クルマエビセンター養殖池

●沿岸漁業振興特別対策事業（補助）

255万円

クルマエビセンター内養殖池スクリーンの老朽化による稚エビの流失で生産量の確保が困難になっているため、スクリーンの改修を行います

問合せ先 農山漁村整備課 財源：県170万円 市85万円

●商店街活動強化事業

131万円

中心商店街の賑わいと活気を創生するため、商店連合会が行う商店街活性化事業に対し支援を行います

○主な事業

・伊万里えびす祭、いまりさくらまつり、土曜夜市など

問合せ先 商工観光課 財源：市131万円



伊万里川河畔屋台村

●伊万里川河畔屋台村設置事業

85万円

伊万里川河畔を市民納涼の場（屋台村）として活用し、中心市街地の活性化を図る事業に対し支援を行います

問合せ先 商工観光課 財源：市85万円

●どっちゃん祭り・伊万里秋祭り・伊万里トントン祭り事業

648万円

どっちゃん祭り、伊万里秋祭り、伊万里トントン祭りの開催に対し支援を行います

問合せ先 商工観光課 財源：国259万円 市389万円

【5つのエネルギー政策を実現するための市政改革】

これまでの5つのエネルギー政策を実現するためにさまざまな市政改革を行います

●NPO活動推進事業

18万円

NPO法人の認証等事務を平成18年6月から行い、NPO法人の設立支援を行うとともに活動の活性化を図ります

問合せ先 男女協働・まちづくり課 財源：市18万円



NPO法人 小麦の家

●21世紀市民ゆめづくり計画支援事業

336万円

市民と行政の協働による新しい伊万里、楽しい夢のあるまちづくりを実現するために、市民から夢づくり計画やアイデアを募集して支援を行います

問合せ先 男女協働・まちづくり課 財源：市336万円



伊万里エイサー隊(H16~H18)

●民間活動フォローアップ事業

60万円

市民との協働による新しいまちづくりの活動や、独創性のある市民のまちづくりに対して支援を行うことにより、活動の活性化や市民主体のまちづくり、元気なひとづくりを行います

問合せ先 男女協働・まちづくり課 財源：市60万円



西九州伊万里風あげ大会

●一般旅券発給事業

67万円

一般旅券（パスポート）の発給事務を平成18年7月から市民課窓口で行います

問合せ先 市民課 財源：県47万円 市20万円

平成18年度伊万里市の 予算は？（資料編）

一般会計

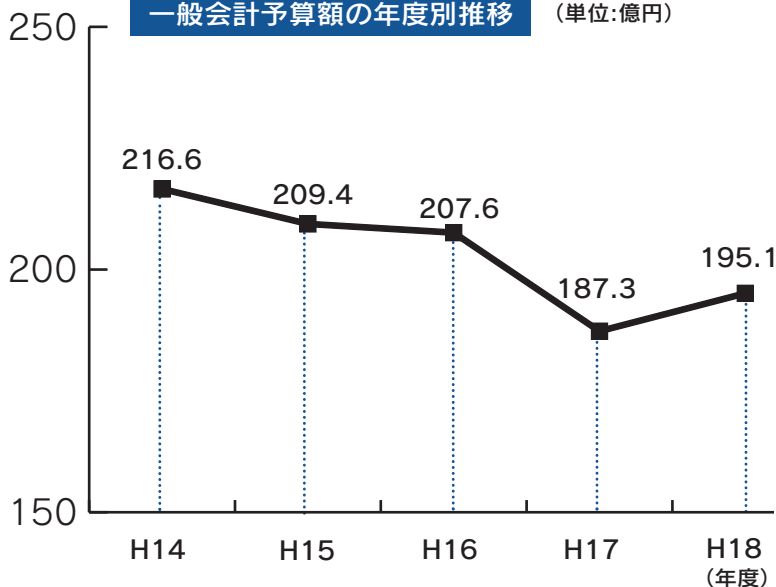
6月補正後予算総額は

195億326万円

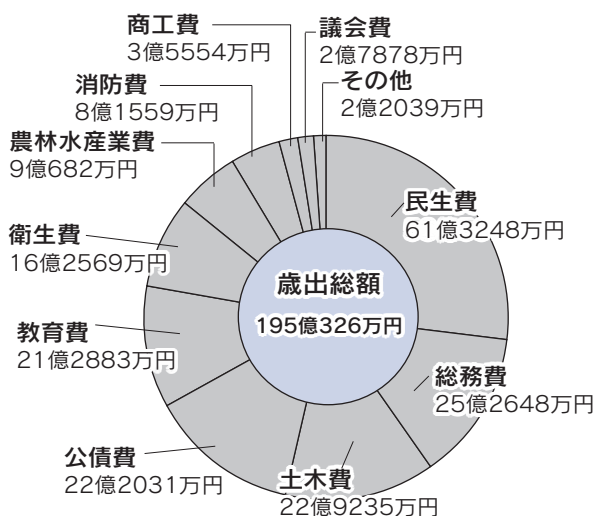
平成18年度6月補正後の伊万里市一般会計予算は、総額で195億326万円となっています。これは平成17年度の同期と比較すると3.9割の増加となりました。

厳しい財政状況の中で、事業の重要性、緊急性を考慮し、財源の重点的、効率的運用を図り予算編成を行いました。
なお、その概要は次のとおりです。

一般会計予算額の年度別推移 (単位:億円)

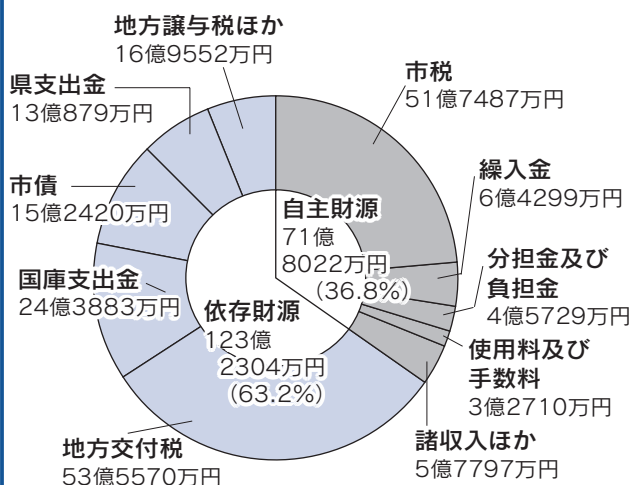


歳出



- **民生費**…………… 社会福祉や児童福祉、生活保護などの経費で、市民の安定した社会生活を保障するための経費です
- **総務費**…………… 企画、男女協働、国際交流など、おもに総務部門に要する経費です
- **教育費**…………… 小・中学校の学校教育をはじめ、社会教育や保健体育など教育全般の経費です
- **土木費**…………… 道路、河川、住宅、公園、市街地などの整備や維持管理に要する経費です
- **公債費**…………… 借入金の返済に要する経費です
- **衛生費**…………… 保健衛生や、ごみ収集・処理などに要する経費です
- **農林水産業費**… 農林水産業の振興に要する経費です
- **消防費**…………… 火災など災害に対応するための経費です
- **商工費**…………… 商工業や観光の振興に要する経費です
- **議会費**…………… 議会運営に要する経費です
- **その他**…………… 災害復旧費、労働費、諸支出金などです

歳入



- **市税**…………… 個人と法人の市民税、固定資産税、軽自動車税などです
- **繰入金**…………… 基金や特別会計からの繰入金です
- **分担金・負担金**… 災害復旧事業の負担金、保育園の入所負担金などです
- **使用料・手数料**… 施設の使用料、戸籍や住民票の謄、抄本の手数料などです
- **諸収入**…………… 貸付金の元利収入や預金利子などです
- **地方交付税**…………… 国が徴収した税金から、地方公共団体が等しく事務を進められるよう一定の基準で交付されるものです
- **国庫支出金**…………… 国からの負担金や補助金です
- **市債**…………… 市が行う事業の財源として、国や金融機関などから借り入れる借入金です
- **県支出金**…………… 県からの負担金や補助金です
- **地方譲与税ほか**… 国が徴収した税金から譲与されるものなどです

特別会計

事業を行う時、特定の収入をもってその支出に充て、一般会計と区分して経理する必要がある場合に特別会計を設けています。

平成18年度は、表1のとおり7つの特別会計を設けて事業を実施します。これら特別会計の平成18年度6月補正後の予算総額は、198億6926万円となっています。

国民健康保険特別会計

国民健康保険税や国庫支出金を主な財源として、医療給付を行うための会計です

介護保険特別会計

介護保険料や国庫支出金を主な財源として、介護サービスを行うための会計です

立花台地開発事業特別会計

公共事業に伴う代替地供給を目的とした、宅

表1 特別会計予算額

(単位:万円)

特別会計名	予算額
国民健康保険	587,909
介護保険	456,466
立花台地開発事業	60,825
公共下水道事業	247,451
農業集落排水事業	16,645
市営駐車場	1,700
老人保健	615,930

表2 企業会計予算額

(単位:万円)

区分	水道事業	工業用水道事業	病院事業	
収益的収支	収入	135,859	44,398	111,953
	支出	135,859	44,398	111,953
資本的収支	収入	82,989	49,131	12,193
	支出	127,193	59,036	12,197

表3 市債現在高

(単位:万円)

借入の目的	現在高
一般会計	2,071,287
特別会計	
公共下水道事業	1,550,895
農業集落排水事業	163,485
計	3,785,667

(単位:万円)

借入の目的	現在高
企業会計	
水道事業	464,996
工業用水道事業	501,964
病院事業	25,849
計	992,809

*平成18年5月31日現在です

*主な借入先は、財務省、総務省、公営企業金融公庫、佐賀県ほか市中金融機関などです

企業会計

経営成績を明確にするため、市は三つの公営企業を設けています。それぞれの会計ごとの予

地開発を行うための会計です

公共下水道事業特別会計

快適な生活環境の実現をめざし、下水道整備を行うための会計です

農業集落排水事業特別会計

農村地域の快適な生活環境の実現をめざし、排水事業を行うための会計です

市営駐車場特別会計

中心市街地や商店街への来訪者の利便を図る目的で設置している市営駐車場の会計です

老人保健特別会計

※注

70歳以上の高齢者と、65歳以上の寝たきり老人などを対象に医療給付を行うための会計です

算額は、表2のとおりです。

水道事業特別会計

安心して飲める水を供給するため、水道使用料などを財源に、事業運営や施設整備などを行う会計です

工業用水道事業特別会計

工業用水を供給するため、使用料などを財源に、事業運営や施設整備などを行う会計です

病院事業特別会計

市民の健康保持に必要な医療提供のため、診療報酬などを財源に、事業運営や施設整備などを行う会計です

市債現在高

市が行う建設事業などの財源として、国や県、金融機関などから借り入れている市債の額は、表3のとおりです。



平成18年度予算特集号

- 発行日／平成18年7月
- 発行編集／伊万里市役所情報広報課広報係
(0955)23-4313
〒848-8501 佐賀県伊万里市立花町1355番地1
- 伊万里市のホームページ
<http://www.city.imari.saga.jp/>
- 印刷／株式会社三光